

Ⅱ．事業の概要

1. 当該年度の事業の概要

「睦学園グランドデザイン2030」

令和5(2023)年度から令和12(2030)年度までの計画

<ビジョン>

和でつながり、個を伸ばす。

<育む人材像>

睦学園は「和の力」を通して「個の力」をもった人材を育成します。

個の成長を最大化させる教育を実践し、共生力を課題解決能力を育みます。

<2030年に達成する姿> （各部門共通の基本骨子）

- I 人間教育 「和」の精神に基づく睦人材の育成
- II 教育研究 教育の充実と総合的「和」の形成
- III 国際交流 世界的視野で行動する人材の育成
- IV 社会連携 地域に開かれ地域と共に成長する
- V 経営基盤 永続的な変革と発展を支える組織づくり

この目標に向け、部門ごとに令和12(2030)年度に目指す姿を定め、中間計画を策定し、この計画の実現に向けて「睦グランドデザイン2030」の2年目である令和6(2024)年度に実施した主な事業について報告します。

○法人の管理運営

1. 昨年度に引き続き、私立学校法等改正に対応した学園の運営体制の点検及び充実を図りました。
2. 法人機能の強化を図りました。
 - ・経営に関する管理体制の整備、決裁権限の明確化
 - ・有事に対応できる危機管理システムの導入
3. 連携強化、合理化、効率化による学園の組織力強化のため、効率化に伴う課題抽出とDX/SXの採否の検討を行いました。また、クラウド化の推進も進めています。
4. 学校法人としてのブランド力の強化のため産官学金との協調事業を推進しました。

○兵庫大学・兵庫大学短期大学部

(1) 人間教育

- ① 3つのポリシーを起点とした内部質保証の点検・見直しを行いました。

(2) 教育研究

- ① 教育の質向上に向けた教育プログラムでは、教学アセスメントに係る状況確認シート（CP、DP）によって、意見を伝え、学科ごとにチェックや対策を行いました。
- ② 学生の希望に沿った質の高い出口保証を目指し、各学科とも目標数値の達成に向け取組を行いました。
また、留学生に対する就職支援の取組も行っています。
- ③ 看護学研究科博士前期課程・後期課程の教育研究改革を実施しました。
- ④ 中期計画に基づく学部学科改組計画の策定
 - ・現代ビジネス学科…令和9年度を目途としたデジタルビジネス学科（仮称）の設置
 - ・健康システム学科…令和8年度より「健康スポーツ学科」へ名称変更。
 - ・栄養マネジメント学科…令和8年度より「栄養学科」へ名称変更。
 - ・社会福祉学科…令和9年度を目途とした70人定員に向けてのコース編成の検討案策定
 - ・保育科第一部・第三部…兵庫大学への編入推進
 - ・その他…留学し拡充のためアジアの社会情勢を考慮した学科再編の検討
- ⑤ 中途退学率、原級留置生の減少を図るため、面談システムの活用、健康管理センターQるーむとのより一層連携を強化しました。
- ⑥ 課外活動の活性化のため、大学（部活動）と企業（スポンサー）を繋ぐ事業を展開し、1社から支援をいただいています。
- ⑦ 教学情報システムの更新に向け選定作業に入り、関係職員間で綿密に作業を進め、予定通り令和7年4月に新システム稼働となります。
- ⑧ 学生の多様化に配慮した支援の強化のため、看護師相談を新たに実施し、Qるーむと健康管理センター双方がアクセスできる共有フォルダを整備し、（9月から運用）学生の相談状況等の情報共有をリアルタイムで把握可能となりました。
- ⑨ 学修成果の可視化と個別最適学習の支援では、HUsystem内のデータの蓄積分析を行い関連学科、部署へ提供し、中退防止・軽減に関して他大学との共同研究を開始しました。研究成果を踏まえ、効果的な指導方法を提言します。
- ⑩ 研究成果に基づく教員評価制度の見直しでは、「個人研究費傾斜配分の実施方法及び評価項目」を策定しました。
- ⑪ 研究活動の国際化への進展では、大学の公式サイトに、教員プロフィール（英語版）を公開しました。
- ⑫ 共同研究(国際共同研究を含む)の推進のため、「令和7年度 兵庫大学附属総合科学研究方針と事業計画」を作成しました。

(3) 国際化推進

- ① グローバル人材育成のための新規プログラム等を検討し、新たに4大学と協定を締結しました。また、2大学（ブリュッセルビジネスインスティテュート大学、ニュージーランドワイカト大学）とのMOUの見直しを行いました。海外派遣プログラム参加学生のために、危機管理対策の拡充も行っています。
- ② 留学生確保に関わる戦略的検討を踏まえた対応として、日本語学校進路説明会への出席、日本語研修講座の実施、幼児教育等の授業カリキュラムの海外展開に係る調査も開始しました。
- ③ 日本語教育の強化を図るため、大学のすべての学科の令和7年度入学生用の共通教育課程表に「日本語初級1（留学生）」等10科目を新規開設しました。
- ④ 国内及び地域に定着する留学生のための支援として、2市2町、コンソーシアムひょうご神戸との行事参加、姫路市文化国際交流財団、明石市文化国際創成財団との交流を図っています。また、滞在中の住宅確保にも注力しています。

(4) 社会連携

- ① 地域人材育成プラットフォームの形成と事業創出のため、兵庫大学プラットフォーム協議会の事業として、「プラットフォームかふえ」を学生食堂の2階に設置し、試験的運用を開始しました。
- ② 社会人の受講者のための施策として、通信教育課程で、免許法認定講習を計画、クラストリームやmanabaを併用してオンデマンド配信を開始しました。また、エクステンション・カレッジ関連事業における受講者層に、ミドル・シニア層をターゲットにした講座を令和7年度に増設予定です。
- ③ 新たな教育展開を視野に入れた連携協定先として、高校3校（日ノ本学園高校、姫路女学院高校、社高校）、特別支援学校2校（姫路しらさぎ特別支援学校、播磨特別支援学校）と締結しました。また、海外連携先との協定の再点検を図り、さらに、長安大学（韓国）、煙台大学（中国）と連携協定を締結しました。

○兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校

(1) 人間教育

- ① 昨年度の創立100周年記念行事に引続き、令和6年度も諸行事を実施し、宗教行事を通じ情操教育を礎にした「和の精神」の涵養に繋がっています。
- ② 部活動（スポーツ）の活性化によるチーム力（和の精神）の涵養にも繋がっています。

(2) 教育研究

- ① 令和6年度の大学・短大への進学率や、専門学校も含む進学率も目標を掲げ進路指導を強化しています。
- ② 兵庫大学との高大連携による探求学習のための単位を設定しています。
- ③ IR等導入による個に寄り添う教育（キャリアデザイン）を展開のため、月4回の大学への本校IR推進中核委員派遣による協同作業を推進しています。
- ④ 「未来デザイン専攻」の設置により兵庫大学との共同プログラムを構築しアントレプレナーシップ教育によりカンパニープロジェクトを授業の一環として次年度予定しています。
- ⑤ 英語教育を中心とした教育指導による難関大学の進学率の向上のため志望者対応の英検対策及び受験指導体制を構築しています。
0校時及び7、8校時特進コース補習を実施しています。

(3) 国際化推進

- ① ハイブリッドな国際交流を展開するために、国際交流の復活、長期国際交流策を検討し、来年度以降海外への修学旅行及び短期留学を企画しています。

(4) 社会連携

- ① 「生活発表とバザー」で卒業生(鷗翠会)との協同による活性化を図りました。
- ② 地域社会との連携によるボランティア活動・社会福祉施設を中心としたイベントへの参加も積極的に行っています。
- ② 小・中学校の部活動の地域クラブへの移行に本校の部活動が協力しました。
新体操部はジュニアクラブチームを開設、幼稚園児から対象としています。

○神戸国際中学校・高等学校

(1) 人間教育

- ① 中学校の道德教育において学園訓(感謝・寛容・互譲)のこころを育て、感謝・寛容・互譲の心を育む道德教材の整理を進めています。
- ② ボランティア活動を推進し、感謝され、感謝する、助け合うこころを育む活動を展開しています。

(2) 教育研究

- ① 教員の資質能力の向上を図り、授業の工夫・改善・充実による入学後の学力向上を図っています。
「中学3年次における学力推移調査平均偏差値」
「高校3年次における校外模試調査平均偏差値」の目標を設定し取り組んでいます。

- ② 少人数制に更に磨きをかけ、質問対応や個別指導の徹底に努めています。
入学後に偏差値が10以上伸ばすために授業前、jy業の中で生徒の理解度を高めることはもちろん、放課後を活用しての個別指導、昼休みにイングリッシュ・カフェ等を開催し、英語運用能力の向上を図っています。

(3) 国際化推進

- ① 海外語学研修の推進並びに海外協定校の拡大を図り、グローバル人材、グローバルリーダーを育成するために、本校生を受入中のロールストン・カレッジとの協定校の覚書を締結をしました。また、留学生の受入れも行っています。
- ② 留学生を積極的に受入れ、校内での国際交流の機会を増やし、生徒のグローバル感覚を高めるようにしています。

(4) 社会連携

- ① 協定校(須磨浦小、バイリンガルスクール、高羽六甲アイランド小)や協定教育機関(公文、ECCジュニア)との連携を更に強化し、生徒募集イベントへの参加者数増を図っています。
- ② 協定校や協定教育機関との入試連携を更に強化し、本校への推薦者数増へ繋げています。

○兵庫大学附属須磨幼稚園

(1) 人間教育

- ① 行事の取組の中で、学園訓を育む機会は多くあります。
子ども達の体験と学園訓とを繋げて進めていく意識を持つことが、豊かな心を育む基礎づくりとして重要であると捉え、体験のチャンスを活かした人間教育に取り組んでいます。

(2) 教育研究

- ① IEP個別教育計画の実践に親の願いや成長への期待を知ることで保育目標の具体化が進んでいます。
- ② STEAM教育の展開で不思議から調べる楽しさを知り科学に興味を持つ保育に取り組みました。

(3) 国際化推進

- ① イマージョン教育の推進のため、次の取組を実施しました。
 - ・英語カリキュラムの導入（年少、年中組）
 - ・オープンデーの実施（一般公開）

- ・他国の子どもとオンライン交流
- ・保護者参加型のイベント実施（ハロウィン、クリスマス等）
- ・未就園児の英語での保育

(4) 社会連携

- ① 園児と地域とのかかわりを深めるための地域イベントへ参加しました。
- ② アプローチカリキュラムを設定し、小学校へスムーズに移行できるよう、保育の中にプログラムを組入れています。

○兵庫大学附属加古川幼稚園

(1) 人間教育

- ① 異年齢の関わりを深める環境を整え、他者を理解し思いやりの心を育てるため、様々な機会に異年齢交流を計画し実施しました。
- ② 建学の精神の共通認識を深め日々の実践につなげるための研修を実施しています。

(2) 教育研究

- ① 子どもの成長過程を保護者と共有し保育計画へと発展させました。
- ② 異年齢集団での保育活動に取り組んでいます。
- ③ 個別の教育計画の取り組みの検証を継続しています。
- ④ 附属園として大学との連携を深める取り組みを推進しています。
- ⑤ 豊かな環境の中で「好き」な遊びや行事を通して健康な心身を育む取組を行いました。
- ⑥ 運動あそび等による体力づくりは継続しています。

(3) 国際化推進

- ① 海外からの一時帰国者の受入れを継続しています。
- ② 外国の文化や言葉に関する興味や関心を持たせる取組として、園児の発達段階に即して外国語に触れる場面を設定し、外部委託したスタッフが、月1回英語遊びを保育時間内に実施しています。

(4) 社会連携

- ① 園児と地域の人との関わりを実施するためのスペースを設置しました。
- ② 時代に即した保護者会運営方法について検討し、意見聴取する機会を設定しました。
- ③ 子育て支援教室（園内）の充実と地域施設を利用した親子教室を実施しました。